

2024年11月18日

記者會、記者クラブ 各位

学生ボランティア団体「ゆにいんくる」が 「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」から表彰されました

令和6年10月19日(土)、岐阜大学の学生ボランティア団体「ゆにいんくる」が、「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」(会長:都竹淳也 飛騨市長)主催の「スペシャルニーズ応援アワード 2024」において「やさしいまちづくり部門」で表彰を受けました。同団体は、医療的ケアを必要とする人やその支援者の生活向上を目指し、地域社会においてユニバーサルシート普及活動などを行っています。

「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」は、医療的ケア児者支援に思いを持つ全国の志ある市区町村長が集まり、医療的ケア児者等の生活実態について理解を深め、先進的な取組の共有をしながら各自治体における支援の推進を図ることなどを目的としています。

スペシャルニーズ応援アワード2024では、全国の医療的ケア児者支援に取り組む個人や団体、自治体の中から特に優れた事例を表彰し、その事例を全国に広げるための活動を行っています。第1回開催の本年は、全国から27件の優れた事例が集まり、その中から「やさしいまちづくり部門」で2件、「頑張る自治体部門」で2件が選ばれ表彰されました。「ゆにいんくる」は、医療的ケア児者に寄り添い、日常生活のサポートや交流イベントの企画を行うなど、地域社会において支援の輪を広げてきました。特に、医療的ケア児者とその家族が安心して交流できる場を提供する取り組みが高く評価され、今回の表彰に繋がりました。(ゆにいんくる HP: <https://yunincl.com/>)

この度、学生が下記のとおり学長へ受賞報告を行いますので、取材方よろしく願いいたします。

記

日時:令和6年11月26日(火) 9:00~9:30

場所:岐阜大学本部棟3階学長室(3階廊下にお集まりください)

報告者:「ゆにいんくる」地域科学部地域文化学科4年 加藤みのり

(参考)スペシャルニーズ応援アワード2024について

□実施日:令和6年10月19日(土)

□開催場所:Whatcafe(東京都品川区東品川2丁目1-11 天王洲アイル)

□主催:医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク (<https://ik-mayors-network.net/>)



東海国立大学機構は、岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人です。
国際的な競争力向上と地域創生への貢献を両輪とした発展を目指します。
東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
総務部広報課広報グループ
TEL:058-293-3377
E-mail:kohositu@t.gifu-u.ac.jp



誰もが安心して外出できる社会へ



ゆにiinくる

岐阜大学
ユニバーサルシート調査隊



昨年岐阜大学で発足した団体です。
発足人自身がお手洗いに
行けない苦しさに悩まれた過去と
医療的ケア児のご家族の苦悩に
共感し活動を始めました。
発足時12人の学生から
今年度は17人で
様々な活動に取り組んでいます。

これまでの活動

ユニバーサルシート 設置場所のマップ制作

1

2024
7月

学生支援プロジェクト
プレゼンの末、採択！

2

8月～10月

電話で
ユニバーサルシートが
設置されているか
大調査！

3

9月～12月
実地調査

あった場所行って
使いやすいか確認

4

10月～12月

マップ制作
1から10まで
得意分野で分担して
制作！
合わせて確認作業も

5

1月～

配布活動
掲載している施設
全庁舎へ配布
随時必要な団体に送付

6

現在

アンケートの実施
岐阜県内拡大のため
行政や議員の方々に
協力をあおぐ

ユニバーサルシートって？

多目的トイレに置かれる大きめベッド
別名:多目的シート、介助用ベッド
おむつ交換や、
下着を下ろすのに介助が必要な方が利用



マップについて

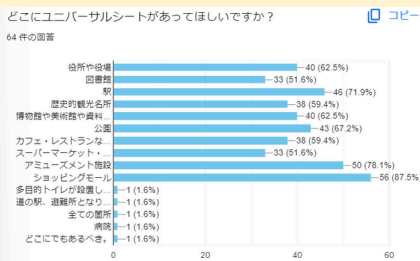


岐阜県岐阜地区、西濃地区37カ所の情報を記載
空間の広さや配置が分かるような写真、欲しい情報を聞きとり掲載
また、ユニバーサルカラー、情報保障に注意
左のQRコードはスマホから経路検索ができるように掲載しています。
全国のユニバーサルトイレ情報を共有できる「Check A toilet」にも転記済み

アンケート実施

実施期間：2023年12月～／調査方法：HP,チラシ、Instagramからアンケートフォームへ誘導
回答数：100件

おむつ交換に利用する人：33名



- ユニバーサルシートがすぐに置けないなら、おむつ交換だけでも個室でできるようにしてほしい
- 簡易パッドの設置と水回りが近くに欲しい
- 救護室の案内が欲しい
- 水回りが近くに必要

下着の着脱に利用する人(介助者含め)：32名
利用例：

- ①車いすでユニバーサルシートに乗り移り下着を脱ぐ、そこから便座に移動
 - ②子供をユニバーサルシートに乗せて下着を脱がせるそこから便座に移動
 - ③車いすからユニバーサルシートに乗り移りユニバーサルシート上に尿取りパッドを敷いてそこでお手洗いをする
- ユニバーサルシートがトイレ内に必要

利用者の声

とにかくユニバーサルシートがあるかどうかで外出出来るかどうかが決まってしまう。旅行も買い物も我慢の連続です。

トイレが困るから外出出来ないではなく、トイレの事を気にしないで外出が出来る社会になって欲しいなと思います。

お出かけをする時に1番に調べる事は、多目的トイレがあるのか、ユニバーサルシート等の設置があるかもし設置がなければ諦めて違う所にお出かけしたりする事が何度ありました。今はまだ子どもも小さいのでばばや私がどうか頑張ればできますが、大きくなった時には必要になるのでいろいろな場所に設置して普及していくといいなと思っています。

→深刻な人権問題である

だれもが安心して外出できる社会へ

1 さらにユニバーサルシート普及活動

必要とする当事者方々へマップの配布活動を続けます。
全国にユニバーサルシートが増えるよう
まずは岐阜から働きかけていきます！

2 インクルーシブの考え方を広げるイベントの開催

インクルーシブの考え方の発信
子どもたちにも多様な仲間と一緒に過ごすことの
大切さを発信し、ユニバーサルシートのみならず、
皆が生きやすい社会づくりに貢献します。

